

コーセー 処方自動生成システムを開発 ハイブリッド型アルゴリズムによる 高速計算で処理時間を大幅に短縮

コーセーは、量子コンピュータと従来型コンピュータを組み合わせたハイブリッド型アルゴリズムにより、高速に動作する化粧品処方自動生成システムを開発した。

量子コンピュータは、角栓除去能の高さを目標品質としたクレンジングオイル処方を自動生成したところ、安全に使用できる条件を満たしながら、これまでの一般的な処方よりも高い角栓除去能をもつ処方を得られた。今後、他の剤型など適用範囲を広げていく。なお、このアルゴリズムについては関連する特許2件の出願を済ませてい

開発した。このアルゴリズムは、量子コンピュータの強みである高速な演算能力を活かし、無数にある原料の組み合わせの探索領域を目標品質に合わせて高速で絞り込み、続いて従来型コンピュータを用いて絞り込んだ中で目標品質に最適な処方を正確に生成させることができる。これにより、これまで実用的な時間では計算が困難であった自動処方生成を、量子コンピュータで実現できるようになった。

開発した処方自動生成システムの適用例として、角栓除去能に優れたクレンジングオイル処

中国・上海に研究開発子会社を設立

ライオンは、中国（上海）に研究開発子会社「獅王（上海）創新科技有限公司」（内藤厚志董事長、Lion Innovation Center (Shanghai) Co., Ltd.）を設立する。資本金は250万米ドル（約3.3億円）で、2023年5月の設立を予定している。

2030年に向けた経営ビジョン「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」の実現には、海外事業の拡大が極めて重要であり、最重要市場である中国をはじめ、既

ライオン製薬

した理由については、工場が他の剤型に比べ全国にはまだ少ない点などが挙げられる。

充填包装工場として稼働する岡山工場としては初の調合機械の導入となる。長年培ってきた食品分包装技術と多くのゲル化処方開発経験をもとに内面、外面の美と健康を提供していく。

今後については、スティックゼリーを軸にサプリメントも展開し、機能性表示食品の開発実績を着実に積み重ねていく。

ポーラ・オルビスHD 「UMI3号ファンド」へ出資

ポーラ・オルビスホールディングスは、ユニバーサルマテリアルズインキュベーター（UMI）が昨年10月に設立した素材・化学分野を投資対象にしたファンド「UMI3号投資事業有限責任組合（UMI3号ファンド）」（運用期間10年間）に、約東金として5億円を出資した。

同社は創業100周年の2029年に向けた長期ビジョン「VISION 2029」にて研究・技術戦略の強化を掲げており、同ファンドを通じて素材・バイオサイエンス・環境などの分野にて、研究開発型ベンチャーとの連携やオープンイノベーションを進め、化粧品事業

岩瀬コスファ 茶花エキスパ配合機能性表示食品の届出が受理

岩瀬コスファは、消費者庁に届出していた茶花エキスパ配合機能性表示食品について、機能性表示食品として届出が受理されたと発表した。機能性関与成分

岩瀬コスファは、消費者庁に届出していた茶花エキスパ配合機能性表示食品について、機能性表示食品として届出が受理されたと発表した。機能性関与成分



お茶の花はツバキに似た小さな白い花で、鎌倉時代から人々に食されてきた。近年、茶花の含有成分や薬理活性が注目されていることから、同社では機能性原料として開発を進めてきた。今回、新たな臨床試験を実施するこ

スティックゼリーラインが本格稼働



スティックゼリーを製造できる工場が他の剤型に比べ全国にはまだ少ない点などが挙げられる。